

# 東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskkn.org](mailto:comm.tko@nskkn.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1142号  
2009年11月8日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

◇11月の代祷・信施奉献先  
▽笹島キリスト教連絡会のため  
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(8~14日)▽人権活動を支える主日(11月最終主日11・29)

## ◆聖信受領

11月1日 東京諸聖徒教会

▽川名稔子(諸聖徒)

## ◆とこしえの平安

10月10日 坂野 囿宣(81)

10月11日 酒井 勲(91) 三光  
聖バルナバ

▽銀座朝拝会 11月10日・

24日(第2・4火曜)7時半、

ルノール喫茶室ニュー銀座。

照会☎042(796)149

8・世話人。

## 今週・来週の予定

11月8日~21日

- 8(日) 聖霊降臨後第23主日  
主教巡回 三光教会
- 9(月) 正義と平和協議会運営委員会
- 10(火) 銀座朝拝会  
財政委員会  
礼拝音楽委員会  
臨時常置委員会
- 11(水) 人権委員会(聖バルナバ)
- 12(木) 人権委:シンポジウム  
聖職養成委員会
- 13(金) 広報委員会  
IT~特別委員会
- 14(土) 主教巡回 東京聖マルチン教会
- 15(日) 聖霊降臨後第24主日  
主教巡回 神田キリスト教会
- 16(月) 人権委員会:日の丸・君が代
- 17(火) ハラスメント防止委員会  
常置委員会
- 18(水) 教役者レクイエム  
山手G 牧師協議会  
信仰と生活委員会
- 19(木) 城南G 牧師協議会
- 20(金) 信徒講座:竹内謙太郎司祭

▽西新の会 10日(火)19時  
半・聖餐式(高橋顕司祭)、24日  
(火)10時半・聖書の学び(関正  
勝司祭)、井草地域区民セン  
ター。照会☎03(3951)50

10・目白聖公会。  
▽11月ランチタイム・オルガ  
ンコンサート \*聖パウロ教会  
11月13日(金)12時20分、懸川み  
どり \*聖テモテ教会11月17日  
(火)12時半、中村文栄 \*神  
田キリスト教会11月18日(水)12  
時20分、荻野由美子

各々30分程度、入場無料

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

長い間、泣いたことがなかったが、先  
日久しぶりに泣いた。朝起きたら枕元に  
涙で濡れていた。朝ごはんを食べながら  
ポロツと落ちそうになる涙を我慢した。  
その日はある信徒の埋葬式の  
日。小平墓地に向かう車の中  
でCDをかけたら、聖歌53  
5番「あなうれしわが身も」  
が流れた。とうとう涙が出て  
しまった。実は夜、夢をみ  
た。亡き父が久しぶりに夢に  
現れたのだ。ストーリーは覚  
えていない。覚えているのは  
何と、父が私の書斎で「キリ  
スト教大事典」を貸してほし  
いと言ったことだけ(?)。  
悲しかった。何故悲しかったかとい  
うと、夢から覚めた瞬間、父と再会したの  
が夢であったこと、二度と会えないのが

《み手のなかで》

## もう二度と泣くまい

執事 卓志雄(タク・ジウン)

現実であることに気付いたからだ。夢と  
現実の境を感じた瞬間の感覚が悲しくて  
仕方がなかった。

悲しみながら着いた、11月がとても相応  
しい小平墓地に。ある聖書箇所が目  
に入った。「私をお遣わしになった  
方の御心とは、私に与えてくださっ  
た人を一人も失わないで、終わりの  
日に復活させることである(ヨハネ  
6・39)」。埋葬式の直前に祈りを  
奉げた。御手の中で生かされている  
ことを感謝しながら忠実に生き、主  
に召され復活させられた新しい体  
で、亡き父のみならず神の国に先に  
呼ばれた沢山の人々と再会する

と泣くまいと決心した。私たちには「神の  
国」という希望があるのだから。

(練馬聖ガブリエル教会牧師補)

**常置委員会報告** (10月16日)  
\*塚田重太郎聖職候補生宛人事発令報告。

\*宣教150周年記念礼拝への協力感謝、主教会(札幌)などの主教諸報告。

\*教区会公示を含む教務主事・総主事諸報告。宣教主事・財務主事諸報告。

\*主教選挙特別委員会委員推薦確認(各教会Gから推挙の信徒6人)承認、常置委員会推挙の聖職・信徒数人未決。

\*次期諸委員会委員長の留任・解任・新任等につき協議(候補者には順次、折衝を遂行)。

\*秋期教区会提出議案(次期教区会計予算にかかわる分担金、特別委員会予算その他諸項を含む)など協議し、教区会前の常

置委員会開催日程も審議。

\*その他。

**信仰と生活委員会報告**

(10月21日)

\*信徒講座(講師・竹内謙太郎司祭)の最終確認、進捗報告。

\*各教会G協議会などの報告。

\*各教会宛に青年窓口担当者設置要請、12月信施奉獻先変更などにつき案内書配付確認。

\*クリスマス礼拝・行事一覧の作成へ向けた実施確認。

\*12月委員会を新旧委員合同で開催企画。

\*その他。

▽立教学院創立135周年記念講演会

ウイリアムズ主教記念基金公開講演会で演題は「現代における聖公会大学の使命」。講師

にフランク・グリズウォルド主教(前米国聖公会総裁主教)を招聘。11月10日(火)17時半〜19時半、同院諸聖徒礼拝堂(池袋キヤンパス)。通訳付。照会先☎03(3985)3347・同大学総長室。

▽パレスチナ子どものキャンペーン(NGO)《国連パレスチナ連帯デー記念イベント》「パネル・ディスカッション」ガザを見捨てるな!、28日(土)15時〜17時半、聖アンデレホール。18時半からの第2部は「タリーク『道』コンサート」でワールド演奏と歌、また同時間開催でパレスチナ屋台(フリード・ドリンク)も。参加費無料。照会☎同NGO・03(3953)1394。

## 【クローズアップ】 30

### 日曜給食活動の現況

11月から早朝方式にリニューアル。これまで10年以上続けて、礼拝後、お昼の一食を提供していましたが、朝10時半からの聖餐式の前にお弁当の手渡しができるように手順を検討。毎週2百食分を用意してくださる聖アンデレ教会有志の方にもご協力をいただいたの挑戦です。初日となる諸聖徒日のお弁当希望者は約4百人。9時50分から約15分で配食は無事行われました。希望者が増加する月末近く、また今後の社会情勢の変化によってさらには工夫や多くの人への協力に期待しなければならぬかもしれません。

ことに昨年末、近隣町会有志の方々より活動見直しの強い要請が寄せられてからは、東京教区の仲介(担当・李民洙司祭、小川昌之総主事)による話し合い、それ以外の方法での情報交換、さらに活動の主体である日曜給食活動関係者連絡会をしばしば臨時に開催して、可能な対応を工夫し、例えば教会の中庭にトイレを新設するなど早速実行するようにしてきました。多くの教会内外の方々にこの間もいただいた祈りとご助力に感謝するとともに、なかなか活動のご報告ができませんでしたこと、一食を所望されて来られる方々、また町会有志の方々にもさまざまにご配慮をお願いすることとなりましたこと、お詫び

とともにお礼を申し上げます。

一人ではできないことをと始めた日曜給食の活動、「このような活動の必要のない社会の実現」ということをだれもが願っています。神様がこの地上でも「この者たちの上に幕屋を張る。彼らは、もはや飢えることも渇くこともなく、太陽も、どのような暑さも(寒さも)彼らを襲うことはない」ようにしてくださいますように、み国の到来とみ心の成就を望みつつ祈り、また多くの方々に協力をもとめながら、今しばらくこの働きを続けさせていただきたいと願っています。

浅草聖ヨハネ教会牧師

司祭 下条裕章